

第十回 (株) 有線ブロードネットワークス番組審議会 議事録

開催日時：平成 15 年 9 月 19 日 11：00～

開催場所：(株) 有線ブロードネットワークス 山王パークタワー 13F  
プレゼンテーションルーム

出席者 委員：小林亜星、有馬祐行、池田憲一、山本武司、渡辺英夫、大島綾子（順不同・敬称略）  
放送局側：8 名

議事内容

1. 放送事業に関する報告

- SOUND PLANET における FM ラジオ再送信についての報告
- 今秋に予定している番組改編に関する報告

2. SOUND PLANET 番組放送の編集の基準について

- 番組審議会において「広告の編成の基準」を提示し承認を得た。
- 番組審議会において「同時再送信」の承認を得た。

3. 番組課題

J-1ch～J-4ch 子供向け音楽番組について

4. 番組審議

- J-1ch 「おやすみ赤ちゃん」について、親子の関係を穏かにさせる効果があると感じた。対象年齢別にチャンネルを区分けする方法も有効だが、どの年齢に対しても「良いものは良い」という曲を掴んでいく努力を期待する。
- 子供向け音楽番組全般に言えることだが、1 つのテーマに対して 3 曲～4 曲連続で放送しても良いと思う。テーマがある程度定まっていたほうが聴取者側もより聴きやすくなるのではないかと思う。
- J-4ch 「ベスト・キッズ・ステーション」に関して、曜日別に放送されているが、各曜日ごとにポリシーがまだ固まりきれていない感がある。もう少し言葉や歌手、作曲家等にコンセプトやこだわりを見せていっても良いと思う。
- 音楽おける胎教や情操教育的な側面で需要を掘り起こす可能性を秘めている。単に子供に喜ばれる歌だけではなく、子供が聞いて心が豊かになるような番組を望む。
- 子供と音楽との関係、環境において、子供が音楽に接する機会は一般的に学校の教科書や、テレビ番組等で放送される楽曲が主となるが、その中間に位置する楽曲を選択しても良いと思う。堅すぎず、柔らかすぎず飽きのこない選曲を求める。
- J-3ch 「ほら うたえたね」について、子供が歌うにはいささか難しいと感じた。もう少し易しめの楽曲を選曲してみてもどうか。
- 子供向け音楽番組全般について、家庭での活用のほか、子供が生活する環境(保育園・幼稚園等)で働く人々の考え方を変えるツールと捉えることもできる。また、それ以外の大人に対しても精神安定的効果がある。子供への教育的側面や大人への情操効果が社会的意義をもっており、犯罪等の抑止に繋がると考えることもできる。
- USEN ならではの放送システムの特徴を生かして、ある程度繰り返し放送すると子供に対する教育的な効果が見込める。このような利点を生かして社会的に貢献できる番組になることを望む。